

## 学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 各務原西高等学校学校運営協議会（第2回）
- 2 開催日時 令和3年11月11日（木） 13：15～15：15
- 3 開催場所 各務原西高等学校会議室
- 4 参加者

会長	今尾 圭一	十六銀行各務原支店長
副会長	進藤 達彦	各務原市役所産業活力部商工振興課長
委員	杉山 淳子	臨床心理士
	遠藤 正彦	各務原市自治会行政協力員
	黒田 晴代	第14回卒業生
	堀 登司仁	PTA会長
	田中 幸子	PTA副会長
学校側	増田 泰志	校長
	錦見 喜朗	教頭
	中川 弘之	事務長
	谷藤 寛三	教務主任
	向井 好美	生徒指導主事
	長谷川 博	進路指導主事
	林 えり	特別活動部長
	太田 英之	教務副主任（記録）

### 5 会議の概要

(授業参観の感想)

意見1：自分が高校生であったころと比べ、黒板がホワイトボードになり、ICT機器を使いながら工夫した授業が多いことに驚いた。

意見2：授業は落ち着いた雰囲気の中で行われ、生徒も前向きに取り組んでいて好感がもてた。

意見3：教室、体育館、トイレなど新型コロナウイルス感染症の感染防止対策がいき届いている。

特に、教室ではCO<sub>2</sub>濃度測定器を入れて換気に気を付けていることは安心した。

意見4：9月のオンラインによる学習支援では、タブレットを使って家庭での学習を行ったが、子どもは「オンラインであっても先生に指名されるかもしれない」と言って、対面での授業と同じように緊張感をもって受けることができ、工夫がされていると感じた。

意見5：タブレットをはじめとするICT機器を利用した授業では、準備などで教員の負担が増えているように感じる。

(協議事項)

(1) 「三つの方針（スクール・ポリシー）」について

意見1：スクール・ポリシーの対象期間はどれくらいになるのか。

⇒ 入学してくる生徒に示すものであり、必要に応じて見直しなどはしていくが、3年後に卒業するまでを想定している。

意見2：グラデュエーション・ポリシーが校訓の四文字熟語を分かりやすく具体的に表現しているよ。

意見3：「好学時習」の精神は、グローバル化が進み、広く世界に飛び出していく今の若者には、非常に大事である。

意見4：少人数クラス編成による教育で、生徒に目がいき届き、自由な雰囲気で行われている授業により、生徒の個性や得意分野を伸ばせるということをアピールできるとよ。

意見5：本校のスクール・ポリシーは、具体的でやわらかい表現であり、わかりやすい。

意見6：グラデュエーション・ポリシーのなかにある「互敬友愛」は、いろいろな生き方、いろいろな考えの人がいる社会の中で、その人たちとうまく付き合っていくためには必要である。

意見7：自分が卒業した高校の3つの教訓のことを思い出す。子どもたちの心に残り、時間がたっても思い出してくれるスクール・ポリシーになるとよ。

(2) 校則の改正又は廃止の手続きについて

意見1：案に「学校運営協議会でその内容について協議するものとする。」とあるが、場合によっては、生徒会執行部が協議に参加することがあってもよいのではないか。

⇒ 本校ではこれまでも生徒会の発案で校則の見直しをしてきた実績がある。本協議会が必要であると認めれば、協議に加わることになる。

(3) 学校体育施設の開放について

意見1：グラウンドを使う部活動も多く、利用できないときには市の施設を借りていると聞いている。流域貯留施設であることもそうだが、グラウンド使用に余裕がないことを開放ができない第一の理由に挙げてもよいのではないか。

6 会議のまとめ

「三つの方針（スクール・ポリシー）」については、委員全員から概ね賛同を得られた。今回の意見を踏まえ、第3回学校運営協議会に提案し承認を得る予定である。校則の改正又は廃止の手続き、学校体育施設の開放についても、基本的には原案通り進めることを承認された。

また、会議前に行った授業見学の感想として、「コロナ対策がしっかり行われている。ICT機器を利用し工夫をした授業が多く行われ、生徒も前向きに取り組んでいて感心した。」など、高く評価された。これに安心することなく、今回の貴重な意見を参考に、より多くの生徒が充実した高校生活を送ることができる学校づくりに尽力していきたい。